

総務部からのお知らせ

(公社)広島県看護協会改選役員及び推薦委員への立候補並びに推薦について

令和8年6月14日に開催する令和8年度広島県看護協会通常総会において、役員及び推薦委員の改選を行いますので、立候補並びに届出期間等についてお知らせします。立候補される方は、正会員5人以上の推薦を受けて届出用紙を選挙管理委員長宛てに郵送してください。届出用紙は本会にありますのでご連絡ください。

提出先 : 〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-2
公益社団法人広島県看護協会 選挙管理委員長 宛(親展)
届出期間 : 令和8年2月2日(月)～2月16日(月)※当日消印有効
お問合せ先 : 広島県看護協会 選挙管理委員会事務局 TEL (082) 293-3362

【令和9年度(公社)日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について】

令和9年度(公社)日本看護協会総会の代議員及び予備代議員の立候補者の届け出を受け付けます。公示は、本会館内に掲示すると共に本会のホームページに掲載します。
なお、代議員及び予備代議員候補者の推薦は、「公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する内規」に基づき推薦委員会が行います。《立候補の届出先、届出期間は上記と同様です》

《改選役員及び推薦委員の改選数》

理事候補者	副会長	1人
	専務理事	1人
	常任理事	2人
	理事(助産師)	1人
委員候補者	理事(広島中)	1人
	理事(廿日市)	1人
	理事(東広島・竹原)	1人
	推薦委員	9人

看護生涯教育・研究センターからのお知らせ

明けまして おめでとうございます。

新年は、未来への第一歩！

～なりたい自分に向かって学ぶ・計画的に学ぶ・学びを実践に活かす～

広島県看護協会看護生涯教育・研究センターでは、「はたらく・まなぶ・キャリアを形成する」を支援するため、日本看護協会が示した生涯学習ガイドラインの考え方にに基づき、スキルアップ、キャリア形成など看護職の主体的な学びを支援する研修プログラムを準備しています。

2026年度もたくさんの研修を企画しています。

「2026年度研修一覧」速報を、2月末に、ホームページに掲載します。3月下旬には「2026年度研修一覧(タブロイド版)」を皆様のお手元にお届けします。

今年の目標を達成のために・・・

- ・必要な知識、スキルは？
- ・どの研修を受講しようかな？
- ・申込期間はいつかな？

看護実践能力(すべての看護師に求められる能力)

専門的・倫理的・法的な実践能力

- ・アカウンタビリティ(責務に基づく実践)
- ・倫理の実践
- ・法的実践

リーダーシップとマネジメント能力

- ・業務の委譲/移譲と管理監督
- ・安全な環境の整備
- ・組織の一員としての役割発揮

看護実践能力

臨床実践能力

- ・ニーズをとらえる力
- ・ケアする力
- ・意思決定を支える力
- ・協働する力

専門性の開発能力

- ・看護の専門性の強化と社会貢献
- ・看護実践の質の改善
- ・生涯学習
- ・自身のウェルビーイングの向上

*「看護師のまなびサポートブック」P27～28

なりたい自分に向かって学ぶ

もっとこんな看護ができれば・・・

その実現のために必要な知識やスキルは？

学びの内容を確認する指標になるのが

『看護実践能力』看護師のまなびサポートブック

新しい年を迎え「学び」を計画してみましょう！



「分娩介助」

助産師として働いてきて、妹の分娩介助を行う機会に恵まれました。しかし、家族という立場ではなく医療従事者としてちゃんと助産診断が行えるのか不安がありました。陣痛が開始して付き添っていた時は家族としての意識の方が強く、そばで見守っていたようと考えていました。お

産が進む中で俯瞰して状況判断ができた瞬間があり、適切にアセスメントできると思えたので心が決まりました。
この出産を通して、助産師として冷静に判断しながら安全に分娩介助を行うことの大切さを再認識しました。その時、取り上げた姪も今月16歳の誕生日を迎えます。
(広報委員 出田 房代)

広島県看護協会報 看護ひろしま
1月号 263号

発行 2026年1月
公益社団法人 広島県看護協会
〒730-0803
広島市中区広瀬北町9-2
☎ 082-293-3362
発行責任者 黒瀬 真理子
編集 広報委員会
制作 有限会社バル

看護ひろしま

広島県看護協会報 vol.263



会員数 合計 19,028人 (令和8年1月1日現在)



1
2026
JANUARY

特集

年男・年女2026年の抱負



年頭のごあいさつ

公益社団法人広島県看護協会
会長 黒瀬 真理子



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃より、広島県看護協会の事業に、多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、日本看護協会は「看護の将来ビジョン2040」を公表しました。このビジョンには、2040年までに予測される医療・看護を取り巻く環境の大きな変化を見据え、看護職が果たすべき役割と進むべき方向性が示されています。本会におきましても、このビジョンの具現化にむけ、看護職一人ひとりのウェルビーイングを大切にし、専門職として誇りと働きがいをもって活躍できる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

変化の激しい時代においても、看護の本質は変わりません。人々のいのちと暮らし、尊厳をまもり支える看護の実践のために、本年も皆さまと共に歩み進んでまいります。引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆さまにとって希望に満ちた一年となりますように心より祈念申し上げます。

横田広島県知事と中本広島県議会議長へ要望書を提出

専務理事 溝上 慶子

令和7年12月8日、黒瀬会長、浜崎副会長、草野副会長、佐藤副会長、板谷広島県看護連盟会長、溝上が、横田県知事、中本県議会議長を訪問し、令和8年度予算の編成並びに施策の推進に向けた要望書を提出しました。重点要望項目は、以下のとおりです。

I 地域医療を支える看護職確保対策の整備

自治体・医療機関・教育機関の連携による、看護職確保対策の強化及び中山間地域への看護職派遣・循環の仕組みの構築。

II ナースセンターの機能強化

ナースセンター事業の周知・広報の充実及び看護補助者の確保・教育研修の充実等。

III 在宅医療需要の増大に対応するための看護提供基盤の強化

在宅医療に係る特定行為の指定研修機関及び区分・領域の拡充と研修修了者の活用の促進。

IV 看護業務の効率化に向けたDXの推進

看護DXの推進と必要な人材の育成・確保。

V 中山間地域における医療的ケア児の就学が可能となる体制整備に係る支援

就学支援のための看護職確保が困難とされる中山間地域等への看護職配置に係る支援。



横田県知事、中本県議会議長には、要望内容についてご理解をいただきました。

学びを力に変えて



新しい学びを前向きに、自分の力へ変えていきたいです。

医療法人社団 更生会
こころホスピタル草津

福田 有華里

成長しつづける

スタッフと一緒に



チームワークとコミュニケーションを大切にみんなで楽しく頑張ります！

広島中央保健生活協同組合
福島生協病院

新川 かおり

笑顔でポジティブに



情熱をもって前向きに歩んでいきたいです。

医療法人 ビーアイイー ナカムラ病院

甲斐 さおり

家庭も仕事も

うま(馬)くいく1年に



笑顔と感謝を忘れずに仕事と育児を両立しながら頑張ります！

国立大学法人 広島大学病院

吉原 みなみ

患者に寄り添える

介護医療院だからこそ



患者さんのみならずご家族も含めた関わりを大切にしていきます。

医療法人 和同会 広島グリーンヒル病院

大田 博子

看護師を目指します



患者さんの想いをしっかり傾聴して温かい心で対話を大切に看護していきます。

医療法人社団 まりも会 ヒロシマ平松病院

高原 未来

心をつなぐ看護



関わりを大切にし、質の高い看護を目指します。

医療法人 一陽会 原田病院

山口 夏紀

等身大で挑戦



視力や記憶力の低下を受け入れながら、自分らしく前進します。

地方独立行政法人 広島県立病院機構
県立広島病院

木戸 裕子

更なるステップアップ



患者さんにも職員からも、頼りがいのある看護師になれるよう成長していきます。

医療法人 和同会 広島シーサイド病院

荒木 裕子

笑顔と安心感を与える

看護師に



笑顔を大切に一人一人の患者さんに寄り添い、安心感を与えられるような看護を提供していきます。

地方独立行政法人 広島県立病院機構
県立広島病院

平野 友翔



学生と共に学び、成長する喜びを力に

基礎看護学

講師 川畑 貴寛

(学校法人 日本赤十字学園 日本赤十字広島看護大学)

自己紹介

私は、大学病院の口腔外科や血液内科、内分泌糖尿病内科、消化器代謝内科等の現場で10年間勤務後、教育の道へ進みました。看護師として勤務する傍ら、大学院に進学し、修士課程を修了しました。日本赤十字広島看護大学の基礎看護学に着任して現在6年目となります。主に1、2年生を対象に、基礎看護技術の教育に携わっています。

教員を目指したきっかけ

大学病院での勤務時、病棟の教育担当者・実習指導者として、新人看護師や実習生の指導に関わる機会が多くありました。最初は戸惑いながらも、真摯に患者さんと向き合い、成長していく彼らの姿を見ることに、患者さんの回復とはまた違う、大きな喜びとやりがいを感じるようになりました。自身の将来のキャリアについて考えるなかで、未来の看護を担う人材の育成に本格的に関わりたいと強く思うようになり、教員の道を志しました。

やりがい

学生の成長を間近で実感できる瞬間が、この仕事の最大の醍醐味です。主に授業では1、2年生を担当しますので、学生の変化を目の当たりにします。初めての演習では緊張



し技術もおぼつかなかった学生が、練習を重ね、自信を持って技術を実践できるようになった時。臨地実習で患者さんや医療者との関わりを通して看護の奥深さや喜びに気づき、目を輝かせる瞬間。こうした一つひとつの変化に立ち会えることが、私自身の教員としてのやりがいとなっています。

学生を育てるうえで大事にしている事

私が大切にしているのは、学生が安心して学修できる環境づくりです。主に1、2年生に関わりますので、初めて看護を学ぶ学生に対して、看護のやりがいや楽しさを感じながら学ぶことができるように努めています。



その他

本学では、学生の看護実践能力向上のために、看護職の方に学内演習指導に協力いただく「赤十字看護教育サポーター（通称レクネス）」制度を設けています。学生にとって臨床で働く看護師は特別な存在で、演習での関わりがロールモデルを見つける上での貴重な機会となっています。是非興味のある方は演習にお越し下さい。



修了者のコメント

“チーム”で輝く特定行為

私は、根拠をもち患者さんのQOLを考えた質の高い看護を実践している認定看護師の姿に感銘を受け、クリティカルケア認定看護師教育課程を受講しました。取得から4年経ち、現在は所属するICUで医師と相談しながら患者さんの状態を評価し、人工呼吸器の設定変更や鎮静剤・カテコラミンの投与量調整などを行っています。当院は麻酔集中治療科の

支援が得られ、実践後の振り返りを通して医師の思考過程を学び、自己の知識向上につながっています。この経験と認定教育課程の学びを通して、患者の変化を多角的にとらえ、重症化予防や回復支援を意識した実践をしています。特定行為は技術だけでなく「看護師としてどう考え、どう関わるか」が大切だと感じています。また、自分ひとりで行うのではな

く、スタッフと考えながら進めることを大切にしています。今後も医師や自部署のスタッフと協働し、院内の呼吸サポートチーム（RST）や院内迅速対応チーム（RRT）の活動を通して患者さんの回復を支えていきたいと思っています。

【リポート】
地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
看護師 上野 友香理



実践前に医師とディスカッション



スタッフと実践中

看護管理者のコメント

高度急性期における特定行為研修修了者の役割と期待

当院ICUでは、クリティカルケア認定看護師3人が特定行為を実践しています。病態変化をベッドサイドでいち早く捉え、「病態を診る視点」の共有により医師の判断を補い、重症化予防や早期回復支援に貢献しています。こうした実践は教育的効果も高く、看護スタッフの看護実践能力向上につながっています。特定行為は呼吸器設定関連など医師の診療補助にあたる行為ですが、常に看護の本質を見失うことなく、患者さんに寄り添う姿勢を大切に実践してほしいと思っています。今年度、上野看護師は、末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理（PICC）の特定行為

研修を新たに受講予定です。医師のタスクシフトにとどまらず、「看護の視点」で患者さんが安心して迅速かつ適切なケア提供になることを期待しています。

現在、特定行為研修修了者は全員が認定看護師ですが、2026年度からはジェネラリストにも研修機会を広げ、臨床推論力と実践力をさらに高めることで、より多くの看護師が患者の安心と安全を支えてくれる存在になることを願っています。

【リポート】
地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院
副院長（事）看護部長 樽本 久美子



ファーストレベルを受講しての学び

医療法人 広島ハートセンター 広島心臓血管病院
主任 西本 奈未

認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講し、県内の様々な地域の看護師とグループワークを通して情報共有することで、看護師としての視野を広げることができました。中でも私たちが行っている看護については、看護の質評価の視点を持ち、看護の質を向上する

ためにはどのように働きかける必要があるかを学ぶことができました。ファーストレベルは看護管理の基礎段階であり、看護師として必要な知識を学ぶことができる良い機会となりました。



2025 年度ファーストレベル受講者のみなさん（講師の山田先生とともに）



管理者として視野を広げる学び

国立大学法人 広島大学病院
小池 哲史

研修を受講し「もっと早く受けていれば」と感じるほど有意義な時間でした。講師の熱意と豊富な経験に基づく講義は分かりやすく、管理者としての役割認識を深めるとともに、組織の課題を可視化し目標を具体化する手法を学ぶことができました。これらの学びは今後の看護実践に活かせると確信しています。また、他施設との情報交換も刺激となり、視野が広がる貴重な機会となり、なにより51人の仲間と職場の支えにより、濃密な3か月を乗り越えることができました。ご指導くださった先生方、広島県看護協会の皆様に心より感謝申し上げます。



授業風景



在宅看護管理の新たな一歩

医療法人社団 恵正会
看護次長 長田 美紀

地域完結型医療が進む中で、在宅領域にも看護管理の視点がより求められると感じ、サードレベルを受講しました。講義では様々な分野の先生方からトップマネジャーとしての知識や視点を学び、実習では看護部長のシャドウイングを通して日々の判断や組織運営の工夫に触れ、大変良い刺激を受けました。同期との交流も学びを広げてくれる大きな力となり、これからの実践を支えてくれる存在になると感じています。今後は、地域で暮らす方々に寄り添いながら、看護管理の視点から持続可能な地域ケア体制の構築に貢献していきたいです。



実習の成果の発表風景



それぞれの場所で輝く「看護管理者」を目指して

総合病院 庄原赤十字病院
看護師長 福本 雅之

令和7年度広島県認定看護管理者セカンドレベル研修には、49人が受講しています。本研修を通して、看護管理課程を体系的に学び、国の政策に即した組織運営を考える力を養っています。志を共にする仲間と学びあう中で、自部署の役割を再確認し、質の高い看護を

提供するために看護管理者として果たすべき役割を明確にすることができたことは、大変貴重な学びの機会となりました。今後は、研修で得た学びを活かし、地域包括ケアシステムの推進と人材育成に努めていきたいと思っています。



2025 年度セカンドレベル受講者



学びの終わりは始まり

地方独立行政法人 広島県立病院機構 県立広島病院
副看護部長 島田 洋子



2025 年度サードレベル受講者

急速な医療情勢の中、今年度が公私ともに最後の機会と思い受講しました。講師の先生方の経験と想いに感銘を受け「この研修は終わりではなく始まり」との激励に背中を押されました。実習では緊張しながらも多くを学び、演習では迷走すると助言者の先生方や仲間に

助けられました。一緒に学んだ同期の皆様、研修時の不在に対応してくれた職場の皆様、看護協会職員の皆様、本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いします。

地域保健・産業保健フォーラム

地域保健と職域保健の役割と連携



グループワーク

女子栄養大学の津下一代教授をお招きし「地域保健と職域保健の連携～生涯を通じた健康づくりを目指して～」をテーマにご講演いただきました。

高年齢労働者や女性労働者の

増加等も背景に、健康寿命の延伸に向けて地域と職域が連携して保健活動を進めていく重要性を改めて認識しました。グループワークでは、参加者同士が活発に意見を交

わし「お互いを知る関係作り」「NDBオープンデータ等を活用した現状把握」から始める等の声が聞かれました。

これまで、地域保健と職域保健の具体的な連携のイメージを持てずにいましたが、「まずはお互いを

知り、違いを認めること。違いがあるからこそ連携の効果が生まれる」という講師の言葉に背中を押されました。グループワークの発表内容にも刺激を受け、連携に向けた今後の一歩を考えるきっかけとなる有意義なフォーラムでした。

【レポート】
保健師職能委員会／戸政 裕美
(JR西日本 広島健康増進センター)



講師の津下一代氏

助産師職能研究会

無痛分娩について学ぼう

広島県においても無痛分娩取り扱い施設が急速に増えている現状を踏まえ、令和7年度助産師職能研究会では「無痛分娩について学ぼう」をテーマに、2人の講師に講演をお願いしました。1人目の麻酔科医 森脇菜々子先生からは「知っておきたい無痛分娩の基礎知識」として、硬膜外麻酔の利点・副作用・合併症、無痛分娩における助産師の役割についてお話がありました。2人目の広島中央通り香月産婦人科 助産師 児玉史乃氏からは「自施設の無痛分娩の取り組み」として、無痛分娩を自施設で開始するまでの取り組み、無痛分娩を選択した母親へのアンケート調

査結果をお話いただきました。その後「今回の学びをどう活かしていくか語り合おう」というテーマで、グループワークを行いました。参加者それぞれの施設の無痛分娩取り扱い状況は異なりますが、勤務施設の現状や無痛分娩に関する疑問など各グループでディスカッションすることができました。今回の研究会には57人の参加があり、研究会の満足度も高く、無痛分娩に関する研修の第2弾を望む意見もいただきました。無痛分娩実施の有無にかかわらず、一人でも多くの対象者が幸せな分娩となるよう助産師の関わりが大切であることを再認識した日となりました。



グループワーク



講師の児玉史乃氏 講師の森脇菜々子氏

【レポート】
助産師職能委員会／藤原 弘子
(尾道市役所)

看護師職能研究会

その人らしく生きるためのACP

9月5日、「ACP実践編 その人らしく生きるための意思決定支援」に131人が参加しました。

講師は一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会代表理事 めぐみ在宅クリニック院長の小澤竹俊先生。小澤先生が実際に患者や家族とどのように関わっているのか映像を交えて話されました。参加者は引きこまれるように聞き入っていました。参加者からは、「ロールプレイをして自分が患者の立場となったことで患者の気持ちが分かった」「臨床で役立てそう」という声がありました。

看護師にとって大切なことは、苦しみを抱える人の理解者となること。その人の声を真摯に捉え傾



ロールプレイング

聴することで信頼関係を築くことにつながると学びました。患者さんが何を言いたいのか、また何を欲しているのか、関わる医療職にとって大事にしなければならない事は何かを考える機会となりました。

講師の
小澤竹俊氏

【レポート】
看護師職能委員／佐伯 雅
(社会医療法人 清風会 五日市記念病院)

研修会レポート

強みを生かしてつくる安心のチーム力

10月10日、NPO法人看護職キャリアサポート代表 濱田安岐子講師をお招きして、「中堅ナースの自分の強みを生かそう～心理的安全性の高いチームづくりのために～」の研修会が開催されました。

事前課題で、上司からみたあなたの強みと関連エピソードインタビ

ューがあり、参加者は上司から伝えられた自身の強みを、嬉しそうにグループ内で発表されていたのが印象的でした。

グループワークで互いの強み、看護師になってからの気持ちの変化、看護実践に良い影響を与えた患者さんとの関わりの経験を情報

共有しました。お互いの経験を共有し、職場でも「安心して話せる文化」をつくる事が、心理的安全性の醸成につながると学びました。

中堅ナースは、チームを支えながら自らも成長し続けられる存在です。後輩の育成や職場の風土づくりを通して、自分のキャリアを主体的にデザインしていくことの大切さを実感しました。前向きな一歩を踏み出す力を得た研修となりました。

【レポート】
広報委員／只宗 寿美
(地方独立行政法人 府中市病院機構 府中市市民病院)



講師の濱田安岐子氏

研修風景

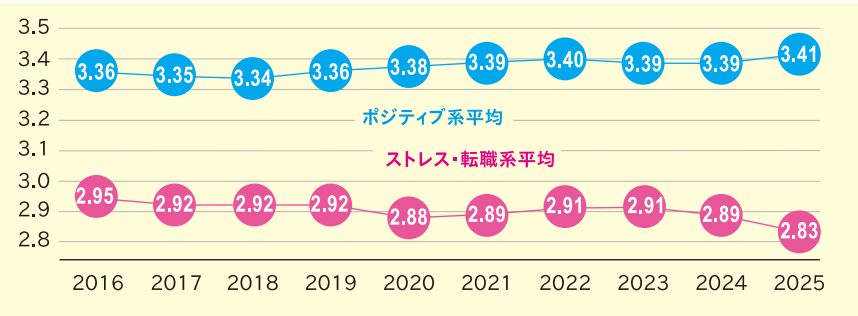
広島県版自己点検ツール「チャレンジ」推進事業

広島県版自己点検ツール「チャレンジ」（以下「チャレンジ」）は令和7年で10年目を迎えました。

「チャレンジ」は、看護職のより良い職場づくりを目指すために毎年8～9月に実施するアンケートで、ポジティブ系、ストレス・転職系あわせて88項目、5段階評価の設問から成り立っています。

広島県全体のデータを開始当初から比較すると、ポジティブ系の「仕事に感じる価値・やりがい」「主体性と看護への納得度」「マネジメント」などの設問は、3.34から3.41に、数値が低いほど評価の良いストレス・転職系の設問では、2.95から2.83に、緩やかに推移しています。

広島県全体のポジティブ系・ストレス・転職系の平均値の推移



- ポジティブ系は数値が高いほど評価がよい
- ストレス・転職系は数値が低いほど評価がよい

コロナ禍で医療を取り巻く環境が厳しくなっても大きな変化がなかったことは、「チャレンジ」に参加された施設が、より良い職場環境づくりの視点で継続して課題解決に取り組まれた成果だと思えます。

今年度「チャレンジ」の活用方法を学ぶワークショッププラスを実施し、その報告会を令和8年3月5日に開催します。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

災害支援ナース養成研修報告

今年度の災害支援ナース養成研修が終了し、新たに66人が誕生しました。

養成研修は、日本看護協会が配信する20時間のオンデマンド研修と本会で行う10時間の集合研修で構成されています。

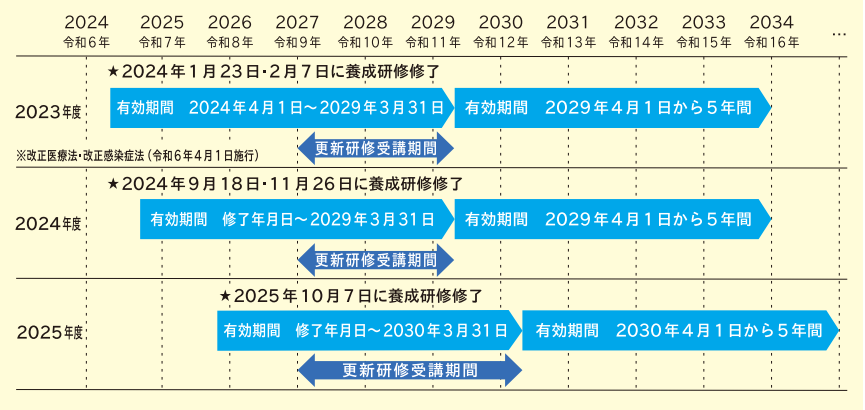
集合研修はグループワークによる演習が中心で、活発な意見交換が行われました。受講生は、多様な意見を共有することで活動の実際を想定し、派遣への心構えができました。

11月1日現在県内の登録者は333人です。災害時には333人の所属施設のうち、広島県と派遣協定を締結した92施設の災害支援ナースが派遣の対象となり被災地に派遣されます。

登録有効期間は登録された年を含め5年間で、有効期間内に1回以上の更新研修を受ける必要があります。登録有効期間は下記のとおりです。

更新研修は2027（令和9）年度開始の予定です。登録の継続を希

災害支援ナース登録の有効期間



望する災害支援ナースの皆さんは有効期間内に忘れず更新研修を受講してください。準備が整い次第ホームページでお知らせします。

また、住所変更、転職等で登録内容に変更がある場合は必ず変更届を提出してください。



集合研修【災害編】グループワークの様子



集合研修【感染症編】PPEの着脱実技演習風景



表紙の舞台 ③

三原・尾道支部

かんごちゃんとともに三原より

三原・尾道支部は、瀬戸内海に面し、広島空港があり交通の便も良いところです。「やささ祭り」でもお馴染みの三原市、「文学の街」「映画の街」として有名な尾道市や「花とフルーツのまち」として自然豊かな世羅町がエリアとなります。人口は、全体では約23万4千人で、人口減少と高齢化は否めません。

支部事務所は、三原駅から南に車で数分の立地条件の良い、港湾ビル2階にあります。老朽化に伴い、移転の話が出ています。

さて、私たちの支部は、役員10人で活動しています。医療機関や施

設を利用される方、地域の皆様が、安心・安全な生活を送っていただけるように、毎年、医療安全研修を計画し実施しています。また、認定看護師を講師に招き、専門的知識の習得を図り、看護の質の向上に努めた研修も行っています。

今後の支部活動においては、他支部と情報を交換したり、事業部との連携を密に図り、充実した内容となるように取り組んでいきたいと思います。

【レポート】

三原・尾道支部 支部長／森数 充代
（公立みつぎ総合病院）

【表紙撮影の舞台裏】



撮影直前に雨が降ってきましたが、雨雲レーダーではもうすぐ上がる予報です！



雨が上がりました！三原・尾道の名物イラストを持って撮影開始～



もう一箇所、三原港の桟橋でも撮影。ロケーションの良いところでした

支部活動紹介

廿日市支部

進路相談会の開催



8月5日に進路相談会を開催しました。学生・保護者7人、日本赤十字広島看護大学、岩国医療センター附属岩国看護学校、岩国YMCA保健看護専門学校の教員・在学生にお越しいただきました。

学校紹介・特徴を説明後、学校毎のブースで個別に詳しく相談できる機会を設けました。教員から授業・実習内容、在学生から進学を決めた

ポイントや学校生活について丁寧に説明していただいたことで、参加者からは「具体的でわかりやすく、進路を決めるきっかけになった」と好評でした。未来の看護師を目指す学生をこれからもサポートしていきます。

【レポート】

廿日市支部 支部長／永瀨 聡
（独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター）

図書室からのお知らせ



図書室における文献複写の中止についてのお知らせ

日本看護協会から「都道府県の図書室において、文献複写ができない」と報告があり、これを受けて広島県看護協会では文献複写（室内のコピー機を利用したの雑誌や学会誌のコピー）をおこなっておりましたが、中止といたします。

なお、図書の閲覧および貸出（雑誌・学会誌・禁帯出は除く）については、従来どおり利用することができますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

今後は日本看護協会図書室web・近隣の図書館（病院・大学）または最新看護索引web（キャリアナース登録が必要）・メディカルオンライン・医中誌複写サービス等をご利用ください。なお、図書室のパソコンからはwebのサービスが利用でき一部プリントアウト可能です。



問い合わせ先

図書・情報管理室
TEL082-296-5079